



社会福祉法人おおぞら会

SSKP

はばただより

vol.139



日々淡々と…

日々の暮らしは、ドラマチックなことや目新しいことは少なく、どちらかというとももなく淡々としたものです。しかし、日々多くの刺激に触れ、仕事や活動をしている中で、この「何もなく、淡々と」した時間がどれだけ大事で、必要不可欠なものか…。おおぞら会のグループホームには多くの職員たちがいて、細やかに突発的なことにも対応しながら、24時間365日の「変わらない毎日」をつくっています。プライベートな時間ゆえ、お披露目できる機会も少ないのですが、みんなが元気に施設や仕事場に通っている姿の後ろに、日々を支える人たちがいることを思い出していただけたら…と思います。

(管理者 入倉 暁子)

●おおぞら会のグループホーム…三鷹市内に点在しています！●

「つなぐなかまの家」…10年を過ぎて、皆さん兄弟のようにケンカしながら仲良く過ごしています。

「さくらハイツ」…アパート形式の自立応援型。一人で地域に出る機会が多い分、支援も多岐にわたります。

「つむぎの家」…身体的な介助度や支援区分の高い方のために、ゆったりと造った昨年度開所のホームです。

野ざきの家

【小規模多機能型居宅介護】



みなさんこんにちは！この夏はいかがおすごしですか？野ざきの家のみなさんはとっても元気に過ごしています。なじみの歌を歌い、工作をして、お菓子を作り、時には防災などの勉強などもして、野ざきの家でたくさん五感を使うこと。そして、お風呂に入ってさっぱりして、テレビを観ながらのんびり談笑してリラックス…
ゆっくり過ごす一日で、みなさん元気をチャージしています。

そして野ざきの家の毎年恒例の家庭菜園。庭先やプランターでいろいろな野菜やお花を育てています。

野菜類ではトウモロコシ、枝豆、トマト、ナス、インゲン、みょうが、キュウリ、パプリカ、トウガラシ、お花はひまわり、アサガオ、ユリなどがあり庭先をととてもにぎわせています。水やりに周りの雑草を取りなどのたくさんのお世話を、日々の活動の中に取り入れて、野菜たちの成長をみんなで心待ちに温かく見守っています。



そして実は毎年の恒例の事はそれだけではありません！そう、何を隠そう、それぞれの野菜の収穫数をみんなで予想するのです！そして収穫予想で1番近かった方には野菜などのプレゼントもあるので利用者も職員も必死なのです！

「トマトは30ぐらいとれるでしょう〜」「いや〜もっと取れると思うよ〜」と想像をふくらませる方。「ナスは味噌で炒めると美味しいのよ〜」と、もうすでに食べる気満々の方。「インゲンは嫌いだからな〜」と収穫予想を少なく見積もる方。

…とそれぞれの予想が飛び交い盛り上がります。

野ざきの家は、そんな楽しさをみんなで分かち合え、地域の憩いの場所になれたらと思っています。ぜひ、お気軽に遊びに来てください。

(介護職員 甲斐康修)



野ざきの夏フェス♪

7/23に開催した施設行事『野ざきの夏フェス』クイズ大会、流しボールゲームなど、楽しい企画を用意して、利用者の方々やご家族もご招待しアットホームな会となりました。株式会社アズマより3名の社員さんがボランティアとして参加して下さい、にぎやかに暑気払いをして、みんなで暑さを吹き飛ばしました！

サポートネットあすは 《移動支援・同行援護・行動援護・居宅介護事業》

あつまれ！ガイドヘルパー

今年度も6月に知的障害者（児）移動支援従業者養成研修（ガイドヘルパー研修）を行いました。事業を開始してから毎年行っている研修ですが、残念なことに、ここ数年は受講生が少なくなっているのが現状です。ですが、2日間に分けて行う講義は、障害福祉の歴史や制度、障害特性、移動支援の業務や職業倫理など盛りだくさんで充実しており、受講された皆さんは、障害の基礎的な学習にもなることから、毎回熱心に耳を傾けてくださり、熱気あふれる会になります。

そんな中でも、ガイドヘルプ利用者の方々に実際にお話を伺う講義は毎回大好評です。

「自分の好きなアイドルに詳しいヘルパーがいい」「優しい人が良い」「道に迷わないで欲しい」…と時々ドキッとするような指摘もありましたが、ガイドヘルパーになろうとしている受講生にとって（あすは職員にとっても）、本当にためになるアドバイスばかりでした。

今回の研修の修了時、何人かの受講生から「ヘルパーとしてはたくさん活動できないけれど、利用者の皆さんと知り合うきっかけができて、とても良かった」という感想をいただきました。

地域での暮らしを支援していくには、まず障害（特性）のことを知ってもらうこと、そして利用者の方、地域の方が「知り合う」ことが大切だと思います。

次回のガイドヘルパー研修は11月2日、9日（ほか実習1日）です。ご興味のある方がいらっしやいましたら、ぜひサポートネットあすはまでお問合せください！

（管理者 鷹觜 綾）

あすは Kids 《放課後等デイサービス》

あすは Kids の子どもたちの中には、独り言のように同じ言葉を繰り返している子がいます。その子の好きなお話の内容だったり、テレビやYoutubeから流れてきてリズムが気に入ったフレーズだったり、いろいろです。

ある時、車で移動中にA君が「プルルル～。はい、もしもし。」と電話で話すように繰り返していました。

どんなことを話すのかなと、少しの間聞いていたのですが、ふと思いたって、私も「プルルル～」と唇を震わせて、電話の音を真似てみました。すると、彼が私をじっと見つめてから「もしもし、〇〇です。～～～」と電話に出て話すように話しました。少し話すと、また私の方を見ていたので、もう一度「プルルル～」と唇を震わせて音を鳴らすと、ニコニコしながら、また「もしもし～」と続けていました。このやりとりを数回繰り返し、その間中、彼は声を出して楽しそうに笑っていました。

独り言に対して職員から何か話しかけても、答えの返ってこないこともあります。けれど、時にはこうして楽しい会話に発展する場合もあり、そこから、子どもたちの好きなことを知ることもつながります。何気ないことでも、そこからいろいろな可能性を引き出すことができると、職員としてうれしく感じます。

（支援員 梅田 亜希）



工房 時

【就労移行支援・就労継続B型】



映画「道草」を観て…

先日、多摩市で障害者支援をしている事業所が主催の映画「道草」上映会に行ってきました。観た方もいると思います
が、「道草」は知的障害者が支援を受けながら、地域で一人暮らしをする日々を追ったドキュメンタリー作品です。映画には知的障害のある4人の当事者、またその家族、支援者であるヘルパーが登場します。当事者とヘルパーが日々の生活を送る中で食事をしたり、お風呂に入ったり、いっしょに遊んだり、道草を楽しんだり…日々の生活が描かれています。そういった日常生活の中で地域との関係があり、トラブルがあり、葛藤があり、つながりがあり、喜びがあり…当事者とヘルパーは、楽しいことも苦しいことも共に分かち合う同志という感じがしました。その中で、一見意味のないことのように見える道草の面白さ大切さ、日々の自分たちの実践と重ね合わせて考えさせられ、また楽しく観ることができました。人生には道草が必要ですね。

映画を見ていく中で考えさせたことは色々あるのですが、今回は医療、服薬について書きます。何のための、誰のための医療や服薬だろうと考えた時に、それは本人の症状を改善させるためのものではなく、問題行動を抑えるために、周りに迷惑をかけないための服薬が多いように感じました。地域で生活していくために、近隣の方々と上手くやっていくために、また家族や支援者が怪我をしないために…必要なことかもしれません。でも本人が穏やかに過ごし、充実した生活を送ることを第一に考えることがまず先だと思います。そのためには問題行動の背景を把握し、その上でどうしたらいいかを考え、生活全体を捉えて支援をしていくことが大切です。服薬もその手段の一つだと思います。まず服薬で問題行動を抑え、静かに過ごすことだけを考えてしまうと、どんどん強い薬の服用になっていき、どこかでまたパニックや他害や自傷行為に繋がってしまうように感じました。

重い障害を持った方が地域で一人暮らしをすることには様々な壁があり、地域の理解と日々のコミュニケーションが必要になってきます。正直、生活施設で暮らしてもらった方が楽だと考えている関係者もいると思います。でも一回しかない人生、自分で決めた道を自分らしく歩いてみたい、道草をしてみたい…と考えるのが当然です。多少困難があっても自分で決めたことであれば、納得ができるような気がします。

最後に一つ。映画に登場する当事者には支援者であるヘルパーが常に一緒にいます。行政と交渉して、ヘルパーの時間増を獲得していったのだと思います。ただ、すべての当事者がこういった支援を受けられるかと言ったら疑問です。おそらく難しいでしょう。当事者、家族、支援者が行政、近隣の方々と共に、どのように折り合いをつけて支援をしていくかが、大切に感じました。

(管理者 立野信行)

ときめき！ワークショップまつり

8月31日(土) 10:00~15:00



★うどん麺づくり体験 ★ペーパークラフト ★雑貨販売・ふきん・ビーズアクセサリ作り
★手すき和紙体験 ★縁起物！～くなんさるをつくろう～ ★特別企画！ふれあいポリス…etc

『工房時』と『野ざきの家』が会場です！ぜひお越しください！

アクティビティセンターはばたけ 【生活介護事業】

はばたけの近くにある、国際基督教大学（ICU）。これまで、近くにありながら、あまり交流をする機会がなく、春に学内の桜並木にお散歩に行くくらいで、「いつか学生さんと交流の機会を持ちたいな…」という片思いが続いていました。そしてようやく昨年、地域福祉を学ぶ学生さんとの出会いがご縁で、昨年度ボランティアやアルバイトに学生さんが来てくださるようになりました。そして今年度はより繋がりもでき、学校を通して 7 月の 4 日間、学生 3 名がボランティア活動に来られました。今回はその様子をご報告したいと思います。

今回いらした学生さんの中には、このボランティア活動のために訪日したフィリピン出身デニースさん、アメリカ出身サムさんの短期留学生 2 名が参加されていました。言語は英語、受け入れの前には職員の中で、「やってほしいことや伝えたいことが伝わるかな?」「日本の文化に馴染めるかな?」等の心配もあり、事前に宗教や文化的な面で必要な配慮などについても、先生と寧に打ち合わせをさせていただきました。



利用者が先生になって紙すき体験

さて、当日…。いざ始まってみると、心配ご無用とばかりに、はばたけの利用者からアプローチ。“私がいるから大丈夫よ” というように傍らについて案内する方、職員に聞いて覚えたばかりの英語で挨拶する方、日本語でどんどん話しかける方、ほっぺをプップーでにこっと笑顔、身ぶり手ぶりで「遊んで!」とアピールする方など、それはもうウェルカムな雰囲気でのお出迎えとなりました。そんな姿に、学生さんたちの緊張も少しずつ和らいでいったようでした。



楽器のリズムと笑顔で伝わる気持ち

交流会の時間には、英語の歌を一緒に歌い、サムさんのピアノ演奏に合わせて楽器でセッションしました。デニースさん持参のフィリピンの伝統楽器を体験し、お二人の故郷の写真を見せてもらい、最後はフィリピンのおやつ「タホ」を作って一緒に食べるという文化交流もでき、とても新鮮で心が弾む楽しい時間となりました。学生さんたちからは、「みんなが優しくて、いつも笑顔で楽しい時間だった!!」との感想をいただきました。

今回のことで、私たち職員の不安をよそに積極的に交流するはばたけ利用者の姿から、「友達になるのに言葉なんて関係ない! 思いを伝える方法はたくさんあるよ、感じるんだよ」とあらためて教えてもらった気がしました。このような交流が互いの理解を育み、地域の中でも多様性を包み込む「お互いさま」の力が高まっていくのだと思います。ICU では、学生が地域の中で学ぶことに力を入れているとのこと。今後も「みたか地域留学」を受け入れながら、私たちももっと地域との交流を広げていきたいと思っています。

(サービス管理責任者 多田羅千絵)

社会福祉法人おおぞら会

職員募集

社会福祉法人おおぞら会では、私たちと一緒に事業を支えてくださる職員を募集しています。

採用条件、労働条件等の詳細については、おおぞら会本部へ直接お問い合わせいただくか、またはハローワークの情報もしくは東京都福祉人材センターのホームページ「福祉のお仕事」www.fukushi-work.jp、または「ジョブメドレー」で検索してご確認ください。

人と関わるのが好きな方
タフでガッツのある方

大歓迎です！



働き方いろいろ
正規職員
契約職員(常勤)
パート職員



★日中お時間のある方★

- ・障害がある人たちの日中の作業活動(散策・創作・運動など)
- ・障害のある子どもたちの放課後の遊び支援
- ・送迎車の運転・添乗(短時間勤務)

★休日や夜間帯で効率よく時間を活用したい方★

- ・グループホームの宿直夜勤
- ・ガイドヘルプでのおでかけサポートや派遣事務
- ・高齢者のデイサービスや泊り

…それぞれ活躍できる現場があります！

それぞれの現場で、みなさんの力を必要としています！

法人のこと、施設のこと…わからなくて迷っている方は、まずは見学からどうぞ。

おおぞら会本部 0422-30-5571 (中野) まで

おおぞら会後援会ニュース



去る5月25日、おおぞら会後援会総会を開催いたしました。多くの関係者にご出席いただき、議事は滞りなく進行いたしました。皆様、誠にありがとうございました。第二部の懇親会では、各事業所の紹介や挨拶もあり、法人と後援会との関わりを感じられる一日となりました。

昨年度は設立20周年を迎え、法人・後援会共に大きな節目となりました。一年、又一年と少しずつ積み重ねてきた事が、結果としてここまでの歴史となっているのだと感じます。今後とも、法人の新たな一歩のために、皆様のお力添えをどうぞよろしくお願いいたします。

おおぞら会後援会
会長 吉野 寿夫



★後援会新規ご入会・ご更新（敬称略）

個人50名の形からご入会・ご更新の手続きをいただきました。
ありがとうございました。

★後援会へ寄附（敬称略）

団体1社、個人2名の方から、後援会へご寄附をいただきました。ありがとうございました。

（以上、H31.12/13 ～ R1.7/22 集約分）

★後援会経由 法人・各事業所へ寄附（敬称略）

団体1社、個人1名の方から、法人・各事業所へご寄附をいただきました。ありがとうございました。

いただきましたご寄附は、大切に活用させていただきます。みなさま、ありがとうございました。

おおぞら会後援会は、社会福祉法人おおぞら会の事業の継続・発展のため、応援をする会です。
今年度も、新規ご入会およびご更新を、何卒よろしくお願いいたします。

（はばただよりを郵送の方には、振込用紙を同封しています。ご活用ください）

* 後援会へのご入会・ご更新をお願いいたします *

年会費 1□ 個人…2000円 団体…10000円

年会費は、お手数ですが直接お持ちいただくか、下記の口座にお振込みください。

郵便口座 00160-0-39163 口座名義: 社会福祉法人おおぞら会後援会

Information

はばたけ秋まつり



*ステージ

*キッズコーナー



*もぎてん

*ミニバザー



*ワークショップ



10月12日(土) 11:00~15:30

(雨天決行)



会場: アクティビティセンターはばたけ



※お車でのご来場はご遠慮ください。

社会福祉法人おおぞら会

- | | | |
|-----------------------------|---------------|------------------|
| ・ アクティビティセンターはばたけ (生活介護事業) | 三鷹市野崎 3-17-9 | tel 0422-32-3234 |
| ・ 工房時 (就労移行事業・就労継続 B 型) | 三鷹市野崎 2-6-41 | tel 0422-30-5571 |
| ・ 野さきの家 (小規模多機能型居宅介護事業) | 三鷹市野崎 2-6-41 | tel 0422-30-5575 |
| ・ サポートネットあすは (移動支援[居宅介護]事業) | 武蔵野市八幡町 1-6-1 | tel 0422-36-5151 |
| ・ あすは Kids (放課後等デイサービス) | 武蔵野市八幡町 1-6-1 | tel 0422-36-5151 |
| ・ ショートステイさくら (短期入所事業) | 三鷹市井の頭 4-22-6 | tel 0422-32-3234 |
| ・ つなぐなかまの家 (共同生活援助) | | |

新事業が始まり数か月過ぎたころ、仕事が忙しい→疲弊→仕事に支障→さらに疲弊のループに陥った。変則勤務となり生活リズムもつかめず、気持ちも閉鎖的になっていった。年度末にこれではまずいと思い、私なりの「休み方改革」をした。まずは、泊まり勤務の帰りには家に直行せず、カフェで一服するといったほんの小さな切り替えを意識した。直前に予定を決めることも苦手だったのだが、予定が空いていたり誘われた時にはエイっと動くようにした。遠くへ出かけたりハードな日程でも、充実感があれば疲れは心地よく、次の日の活力となる。結果的には気持ちにも余裕ができた。おもしろいもので、土日祝が定休でGWや夏休みもしっかり連休だった頃より、なんだか「休み」の中身が濃い気がしている。これまで休みはあっても無駄にしていたのか、ありがたみに気づいたということか…とにかくしっかりと働いて、ちゃんと休もう。(いりくらあきこ)

発行 障害者団体定期刊行物協会 〒157-0072 東京都世田谷区祖師谷 3-1-17-102 [頒価 50 円]

企画・編集 社会福祉法人おおぞら会 編集責任者: 入倉暁子

社会福祉法人おおぞら会

第二号第一様式

法人単位事業活動計算書
(自)平成30年 4月 1日(至)平成31年 3月31日

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
サービス活動増減の部	収益			
	介護保険事業収益	46,337,196	42,853,513	3,483,683
	就労支援事業収益	7,957,219	7,664,866	292,353
	障害福祉サービス等事業収益	277,602,893	258,490,705	19,112,188
	経常経費寄附金収益	3,191,123	3,865,060	△ 673,937
	サービス活動収益計(1)	335,088,431	312,874,144	22,214,287
	費用			
	人件費	248,343,979	239,503,953	8,840,026
	事業費	23,066,264	20,924,283	2,141,981
	事務費	36,227,082	32,996,218	3,230,864
サービス活動増減の部	就労支援事業費用	9,510,218	9,146,184	364,034
	減価償却費	17,685,816	17,765,817	△ 80,001
	国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 14,107,729	△ 13,845,688	△ 262,041
	徴収不能額		8,900	△ 8,900
	徴収不能引当金繰入		5,696	△ 5,696
	サービス活動費用計(2)	320,725,630	306,505,363	14,220,267
	サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	14,362,801	6,368,781	7,994,020
	収益			
	借入金利息補助金収益	650,169	668,828	△ 18,659
	受取利息配当金収益	545	672	△ 127
サービス活動増減の部	その他のサービス活動外収益	3,663,871	2,654,798	1,009,073
	サービス活動外収益計(4)	4,314,585	3,324,298	990,287
	費用			
	支払利息	863,108	725,966	137,142
	投資有価証券評価損		284	△ 284
	その他のサービス活動外費用	2,522,067	2,412,249	109,818
	サービス活動外費用計(5)	3,385,175	3,138,499	246,676
	サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	929,410	185,799	743,611
	経常増減差額(7)=(3)+(6)	15,292,211	6,554,580	8,737,631
	収益			
特別増減の部	施設整備等補助金収益	3,335,000	6,380,600	△ 3,045,600
	施設整備等寄附金収益	10,000,000		10,000,000
	固定資産受贈額	2,569,277		2,569,277
	固定資産売却益	19,999		19,999
	その他の特別収益	14,829	47,495	△ 32,666
	特別収益計(8)	15,939,105	6,428,095	9,511,010
	費用			
	国庫補助金等特別積立金積立額	5,932,811	6,409,081	△ 476,270
	その他の特別損失	157,844	△ 520,055	677,899
	特別費用計(9)	6,090,655	5,889,026	201,629
特別増減差額(10)=(8)-(9)	9,848,450	539,069	9,309,381	
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	25,140,661	7,093,649	18,047,012	
繰越前期繰越活動増減差額(12)	83,652,310	76,558,661	7,093,649	
当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	108,792,971	83,652,310	25,140,661	
基本金取崩額(14)				
その他の積立金取崩額(15)				
その他の積立金積立額(16)				
次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	108,792,971	83,652,310	25,140,661	

法人単位資金収支計算書
(自)平成30年 4月 1日(至)平成31年 3月31日

第一号第一様式

(単位:円)					
勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
事業活動による収入	介護保険事業収入	46,270,000	46,337,196	△ 67,196	
	就労支援事業収入	8,136,000	7,957,219	178,781	
	障害福祉サービス等事業収入	277,783,000	277,602,893	180,107	
	借入金利息補助金収入	660,000	650,169	9,831	
	経常経費寄附金収入	4,430,000	3,191,123	1,238,877	
	受取利息配当金収入	46,000	545	45,455	
	その他の収入	3,643,000	3,659,345	△ 16,345	
	流動資産評価益等による資金増加額		4,526	△ 4,526	
	事業活動収入計(1)	340,968,000	339,403,016	1,564,984	
	事業活動による支出	人件費支出	249,690,000	248,343,979	1,346,021
事業費支出		25,576,000	23,066,264	2,509,736	
事務費支出		37,997,000	36,227,082	1,769,918	
就労支援事業支出		9,925,000	9,537,462	387,538	
支払利息支出		950,000	863,108	86,892	
その他の支出		2,560,000	2,522,067	37,933	
事業活動支出計(2)		326,698,000	320,559,962	6,138,038	
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)		14,270,000	18,843,054	△ 4,573,054	
施設整備等による収入	施設整備等補助金収入	3,340,000	3,335,000	5,000	
	施設整備等寄附金収入	10,000,000	10,000,000	0	
	設備資金借入金収入	32,400,000	32,400,000	0	
	固定資産売却収入	20,000	36,417	△ 16,417	
	施設整備等収入計(4)	45,760,000	45,771,417	△ 11,417	
	設備資金借入金元金償還支出	4,140,000	3,729,000	411,000	
	固定資産取得支出	42,390,000	39,590,888	2,799,112	
	施設整備等支出計(5)	46,530,000	43,319,888	3,210,112	
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△ 770,000	2,451,529	△ 3,221,529		
その他の活動による収入	長期運営資金借入金収入	24,000,000	24,000,000	0	
	積立資産取崩収入		4	△ 4	
	その他の活動による収入	90,000	141,222	△ 51,222	
	その他の活動収入計(7)	24,090,000	24,141,226	△ 51,226	
	長期運営資金借入金元金償還支出	710,000	1,104,000	△ 394,000	
	投資有価証券取得支出	20,000	14,000	6,000	
	積立資産支出		4	△ 4	
	その他の活動による支出	30,710,000	30,907,320	△ 197,320	
その他の活動支出計(8)	31,440,000	32,025,324	△ 585,324		
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△ 7,350,000	△ 7,884,098	534,098		
予備費支出(10)			—		
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)		6,150,000	13,410,485	△ 7,260,485	
前期末支払資金残高(12)		46,613,454	46,613,454	0	
当期末支払資金残高(11)+(12)		52,763,454	60,023,939	△ 7,260,485	

法人単位貸借対照表
平成31年 3月31日現在

(単位:円)

資産の部				負債の部			
	当年度末	前年度末	増減		当年度末	前年度末	増減
流動資産	79,720,561	69,235,326	10,485,235	流動負債	27,968,375	25,180,869	2,787,506
現金預金	22,771,002	20,632,690	2,138,312	事業未払金	13,963,380	17,486,878	△ 3,523,498
事業未収金	53,448,572	43,911,376	9,537,196	1年以内返済予定設備資金借入金	4,620,000	2,976,000	1,644,000
未収補助金	215,000	1,872,000	△ 1,657,000	1年以内返済予定長期運営資金借入金	4,800,000	704,000	4,096,000
商品・製品	365,223	382,088	△ 16,865	未払費用	636,793	571,498	65,295
仕掛品	334,326	281,513	52,813	預り金	443,739	244,785	198,954
原材料	552,716	561,420	△ 8,704	職員預り金	2,819,263	2,826,708	△ 7,445
立替金	192,886	139,958	52,928	前受収益	685,200	371,000	314,200
前払費用	1,944,854	1,558,299	386,555				
徴収不能引当金	△ 104,018	△ 104,018	0				
固定資産	435,004,141	379,909,127	55,095,014	固定負債	82,283,000	36,456,000	45,827,000
基本財産	349,202,376	323,693,569	25,508,807	設備資金借入金	63,483,000	36,456,000	27,027,000
土地	166,983,843	132,926,894	34,056,949	長期運営資金借入金	18,800,000	0	18,800,000
建物	182,218,533	190,766,675	△ 8,548,142	負債の部合計	110,251,375	61,636,869	48,614,506
その他の固定資産	85,801,765	56,215,558	29,586,207	純資産の部			
建物	37,752,754	41,136,139	△ 3,383,385	基本金	35,476,256	35,476,256	0
構築物	3,023,750	3,690,118	△ 666,368	第1号基本金	29,976,256	29,976,256	0
機械及び装置	1,686,248	2,808,210	△ 1,121,962	第3号基本金	5,500,000	5,500,000	0
車輛運搬具	4,285,513	2,090,489	2,195,024	国庫補助金等特別積立金	259,769,061	267,943,979	△ 8,174,918
器具及び備品	3,296,871	1,241,456	2,055,415	その他の積立金	435,039	435,039	0
権利	152,880	152,880	0	授産移行時特別積立金	435,039	435,039	0
ソフトウェア	102,600	232,200	△ 129,600	次期繰越活動増減差額	108,792,971	83,652,310	25,140,661
投資有価証券	215,929	201,929	14,000	(うち当期活動増減差額)	25,140,661	7,093,649	18,047,012
授産移行時特別積立預金	435,039	435,039	0				
差入保証金	34,097,650	4,086,240	30,011,410				
長期前払費用	752,531	140,858	611,673	純資産の部合計	404,473,327	387,507,584	16,965,743
資産の部合計	514,724,702	449,144,453	65,580,249	負債及び純資産の部合計	514,724,702	449,144,453	65,580,249